

松元建設さまのリフォーム施工例



全面リフォームの施工事例。構造補強を施し、セルロースファイバーによる断熱改修も実施。しっかりとした木構造を表して、古民家ならではの風合いを生かしたプランです。



前庭を緑豊かに演出しながら、室内も自然素材を使って質感を漂わせ、内外ともに木の温もりある住まいに。

ユアルイメージを強調。自然素材を大切にするという作風を評価してもらおうようにしています。

「大規模リフォームを考えているお客さまは、建て替えも検討しています。小規模リフォームのお客さまとは求められる要素が異なるので、チラシも分けて作成しています」

新築のノウハウを生かし提案力を高める

新築の受注は年間10棟ほどのペース。「売上はリフォームのほうが2倍以上ありますが、新築のノウハウがあると、大規模リフォームのプランニングに生かれます」。

通常、リフォームのプランニングだと、床・壁・天井といった室内の内装が中心になりますが、新築の場合は、敷地とその周辺も視野に入れて内外の空間そのものをデザインすることになります。

「新築の経験がある担当者だと、リ

フォームの場合でも室内から見た庭の植栽や外構についてもご提案できるようになるのです」。

各種のデザインコンテストにも積極的に参加。LIXILメンバーズコンテスト2015でも、見事に地域優秀賞を受賞しています。

そのほか、設計担当者は東京などで行われるデザイン関連の研修にも派遣。建築家の優れた意匠デザインを吸収するよう、努めています。

また、社内には、大工のほか、左官職、設備、塗装、電気、水道の職人がおり、工事の内製化を図っています。「品質確保のため、なるべく自社で施工できる体制を整えています」と松元社長。今後は、大卒の建築士、若い職人も増やしてさらに人員強化を予定しているそうです。

ここ5年はLIXILのショールームを会場にしたイベントも開催。OB顧客からの紹介を大事にしながらも、常に新規顧客を獲得するルートを模

索しています。

「LIXILのショールームにも協力してもらって、合併浄化槽工事担当のチームにキッチンなどの商品知識を身につけさせたい。そちらからの受注ももっと増やせるはず」と松元社長は意気込んでいます。

当社のお国自慢

宮崎市の南部、海岸地帯にある「宮崎ブーゲンビリア空港」は、市の中心部から約5kmと至近距離にあり、利便性の高い空港として知られています。

施設内には吹き抜け状のイベントスペースがあり、年間100を超える各種イベントを実施。宮崎県ではプロ野球のシーズン前の国内キャンプやプロゴルフツアーも毎年、実施されていることから、スポーツ関連のイベン

トが多数行われることでも有名です。

2010年のリニューアル工事では宮崎県の特産の飴肥杉が広く取り入れられ、手荷物検査場のトレイや検査台、搭乗待合室の壁や展望デッキにも使用されています。そのほか、施設の周辺には空港の愛称でもあるブーゲンビリアやバームツリー、日向夏などの植栽が配置され、南国の雰囲気を感じさせる演出が旅行者の目を楽しませています。



施設内のイベントスペースには、ステンドグラスやからくり時計などが設置され、独自の雰囲気に。